

# たましんレポート2025.12

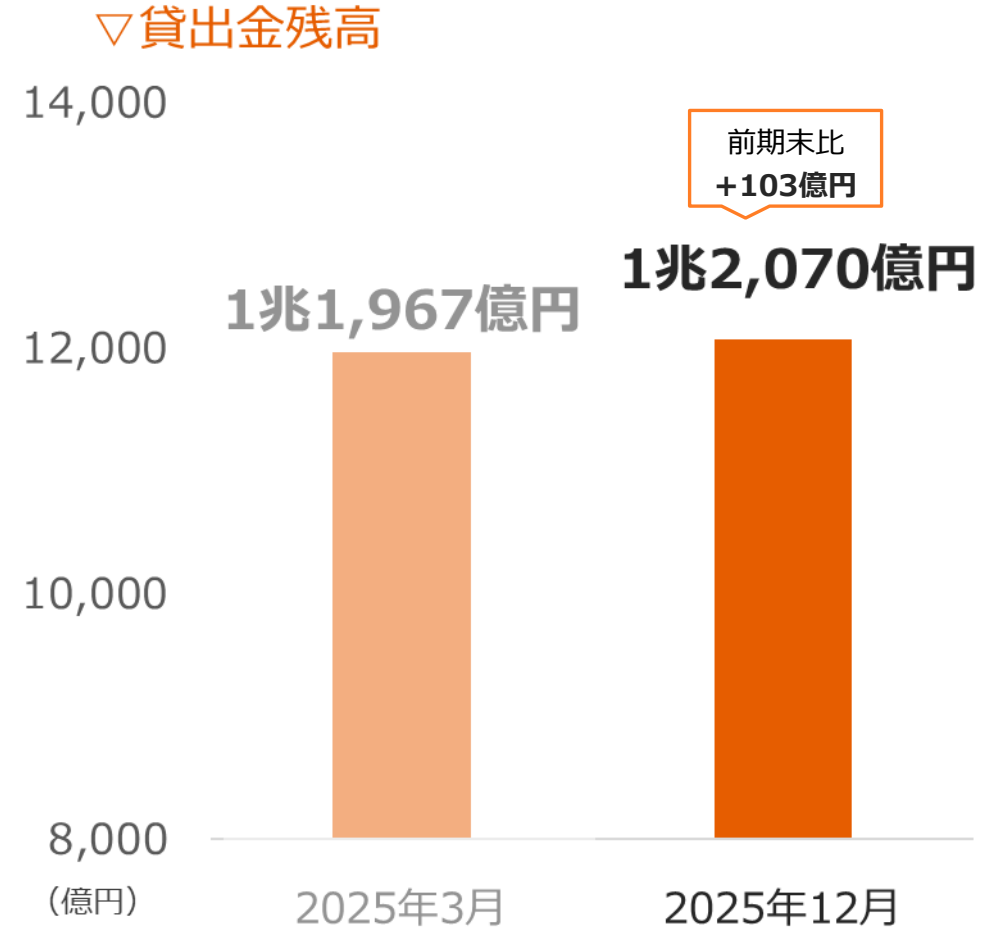
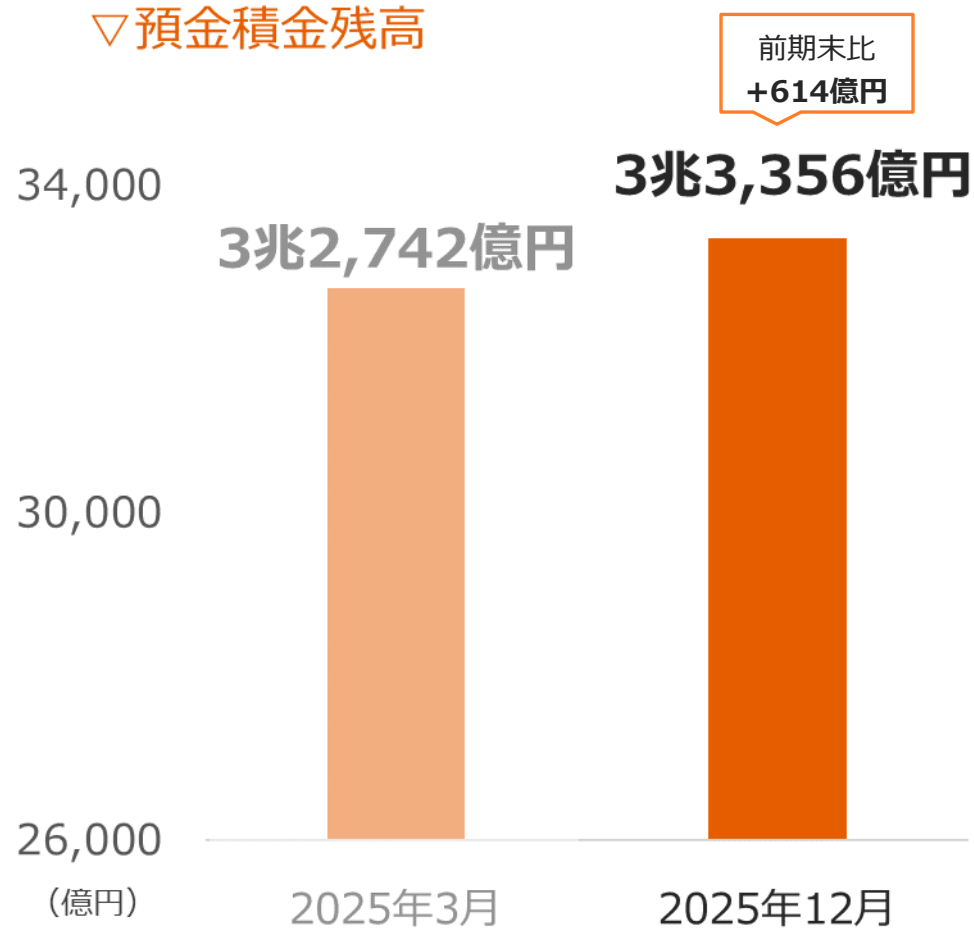
2025.4.1 - 2025.12.31



多摩信用金庫

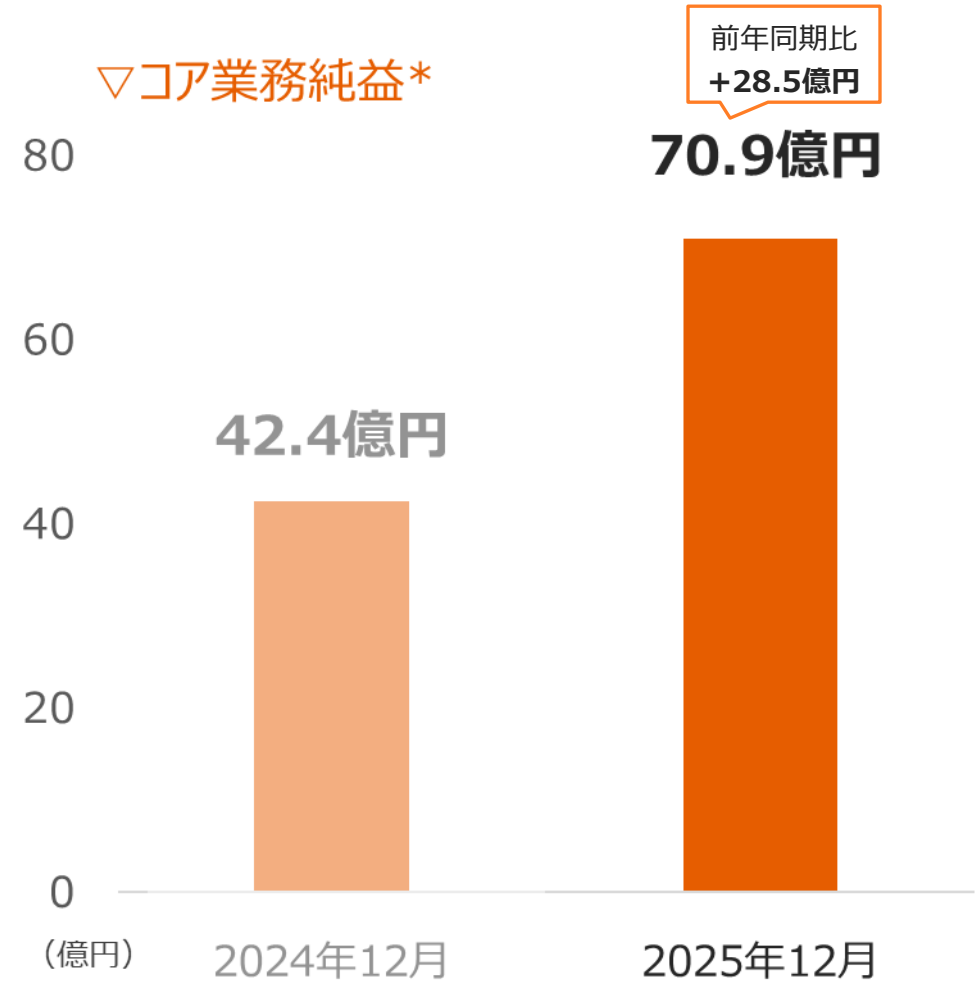
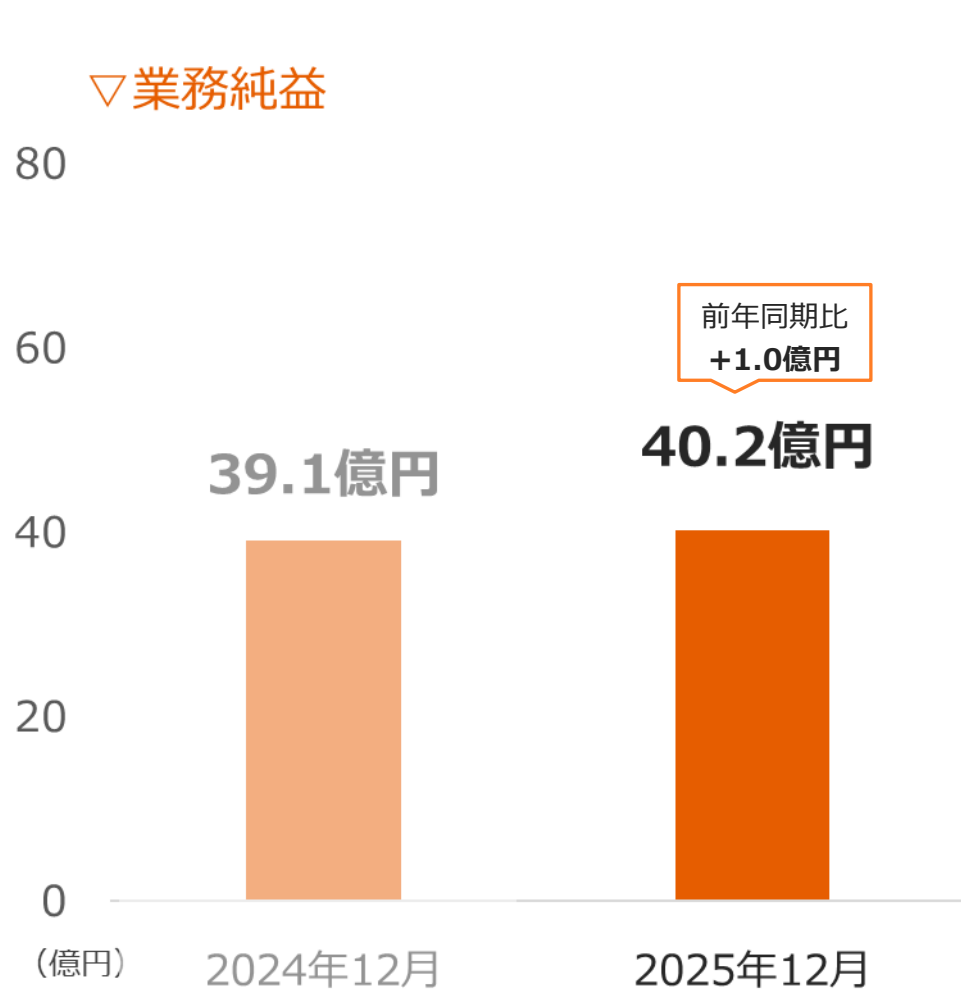
# 預金積金残高・貸出金残高

- 地域の皆さまが抱える課題の解決に取り組んだ結果、預金積金残高は前期末比614億円増加の3兆3,356億円、貸出金残高は同103億円増加の1兆2,070億円となりました。



# 業務純益・コア業務純益

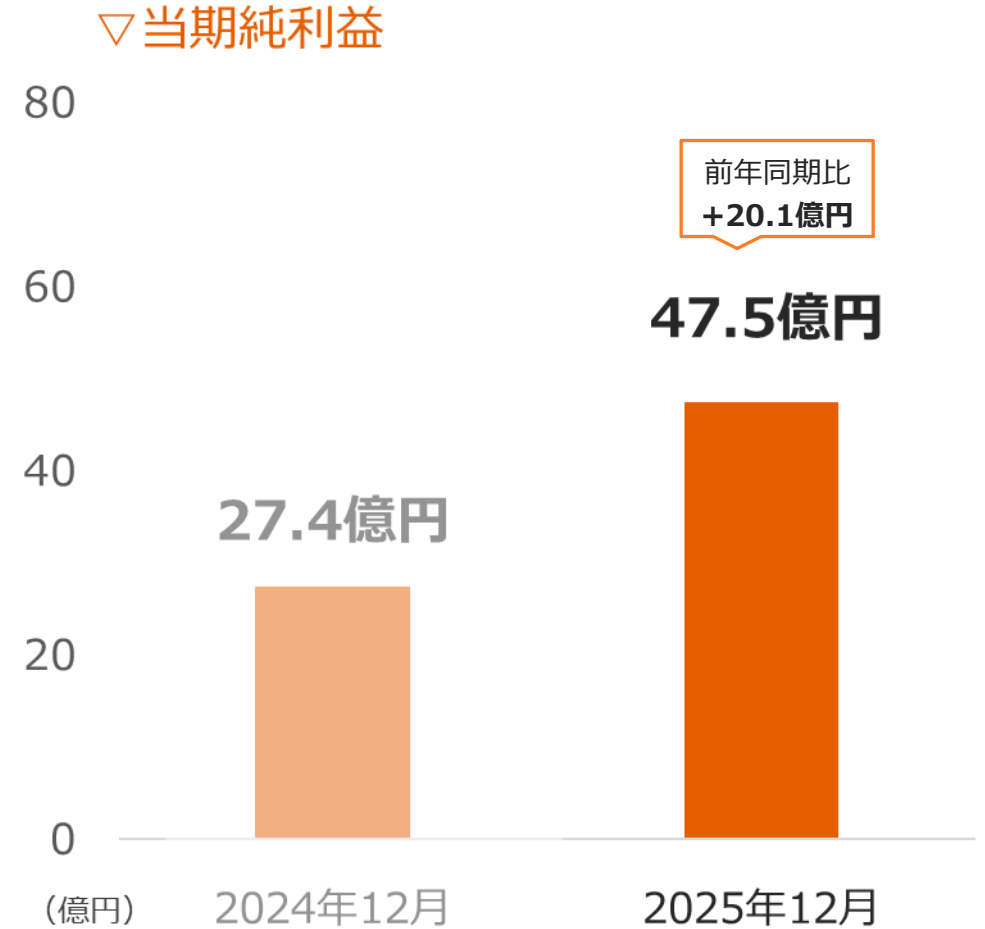
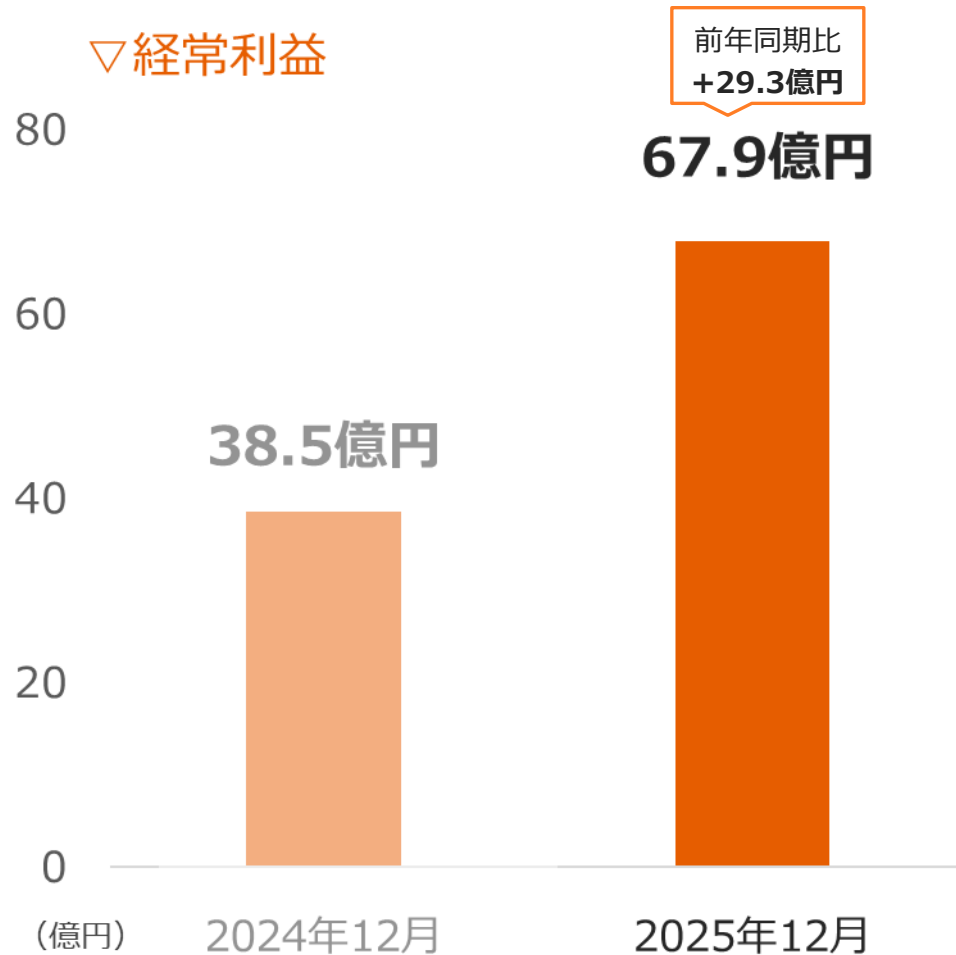
- 業務純益は、国内金利上昇による貸出金利息が増加した一方、預金利息の増加や計画的な債券売却損の計上により、前年同期比1.0億円増加の40.2億円、コア業務純益は同28.5億円増加の70.9億円となりました。



\*コア業務純益=業務純益+一般貸倒引当金繰入額-国債等債券損益

# 経常利益・当期純利益

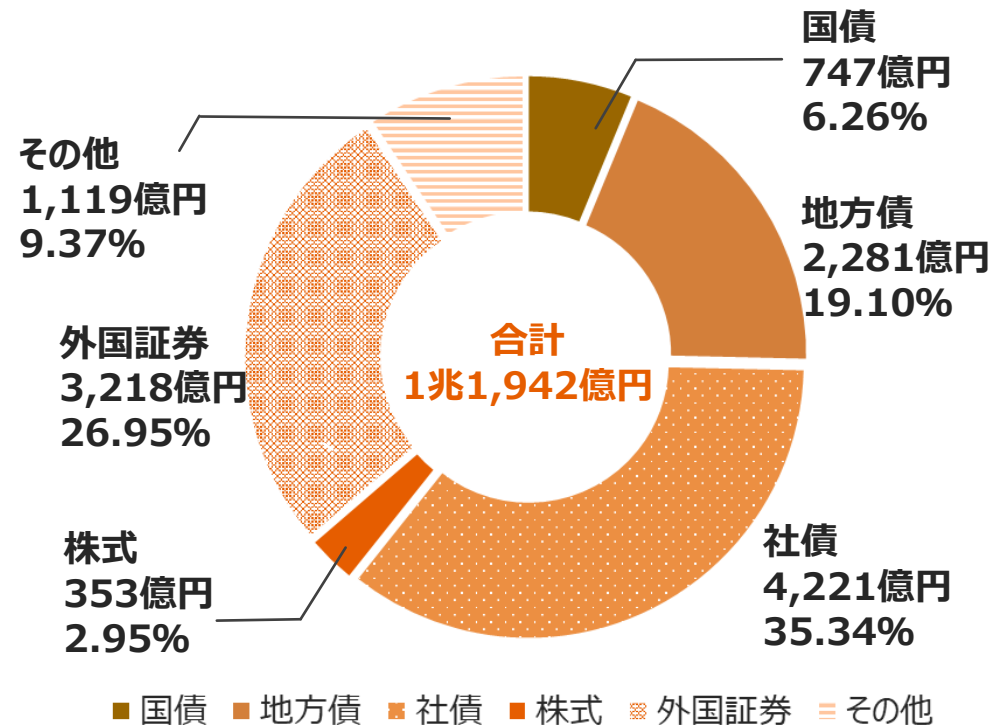
- 経常利益は、株式市場の動向を踏まえて株式等売却益を計上したことを主な要因として、前年同期比29.3億円増加の67.9億円、当期純利益は同20.1億円増加の47.5億円となりました。



# 有価証券について

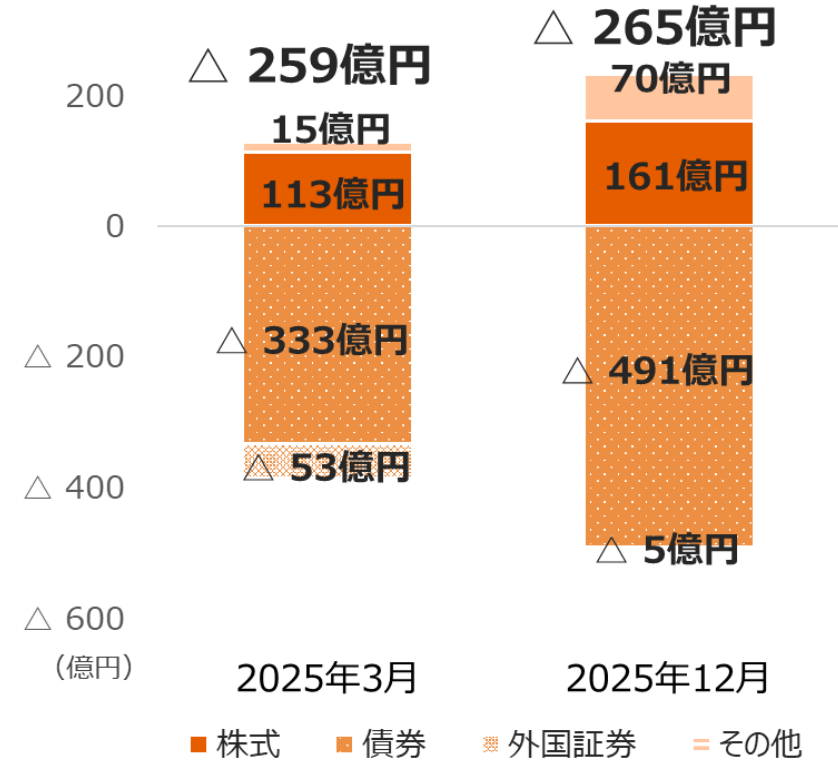
- 資金運用については、中長期的に安定した運用を心がけ、各種リスク管理を行ったうえで、国内外の債券を中心に株式や投資信託等に分散投資しています。
- 保有有価証券の評価損益は、△265億円となりました。国内金利上昇により債券の評価損が拡大しましたが、株式相場が堅調に推移したことで株式の評価益は増加しました。なお、「リスク管理」と「将来の収益確保」という観点から、運用資産におけるポートフォリオの組み換えを実施するなど適切に対応しています。

▽有価証券の種類別残高内訳



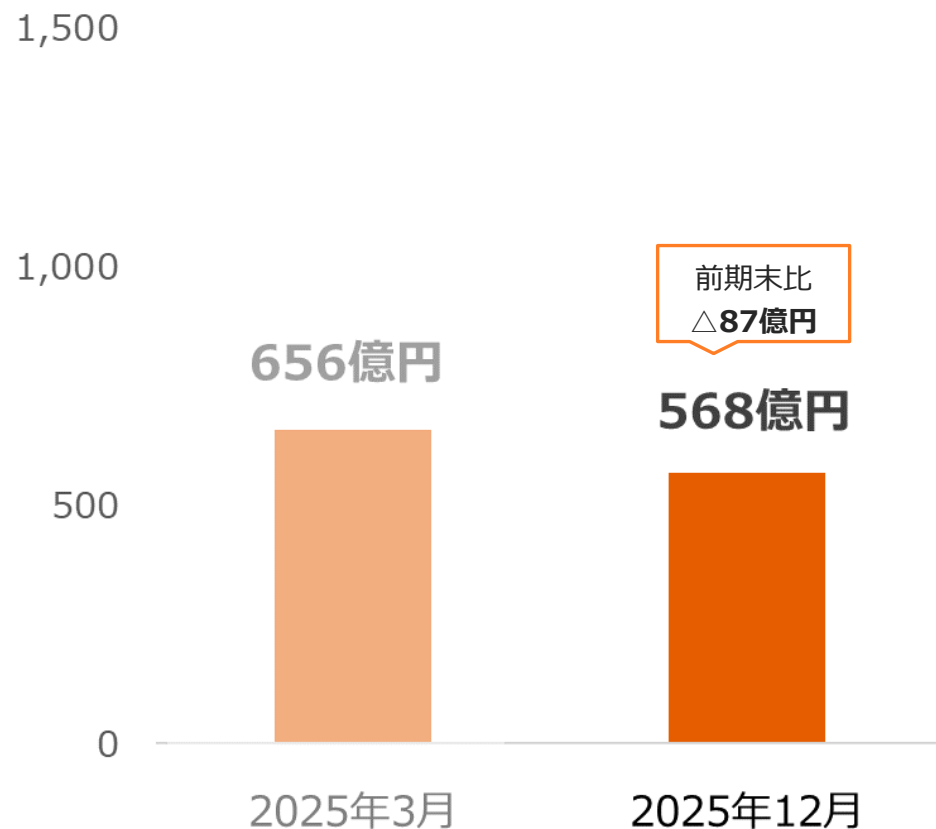
※ 有価証券の種類別残高は2025年12月末における貸借対照表計上額です。  
 ※ 両図の「その他」は、投資信託等です。

▽有価証券の評価損益

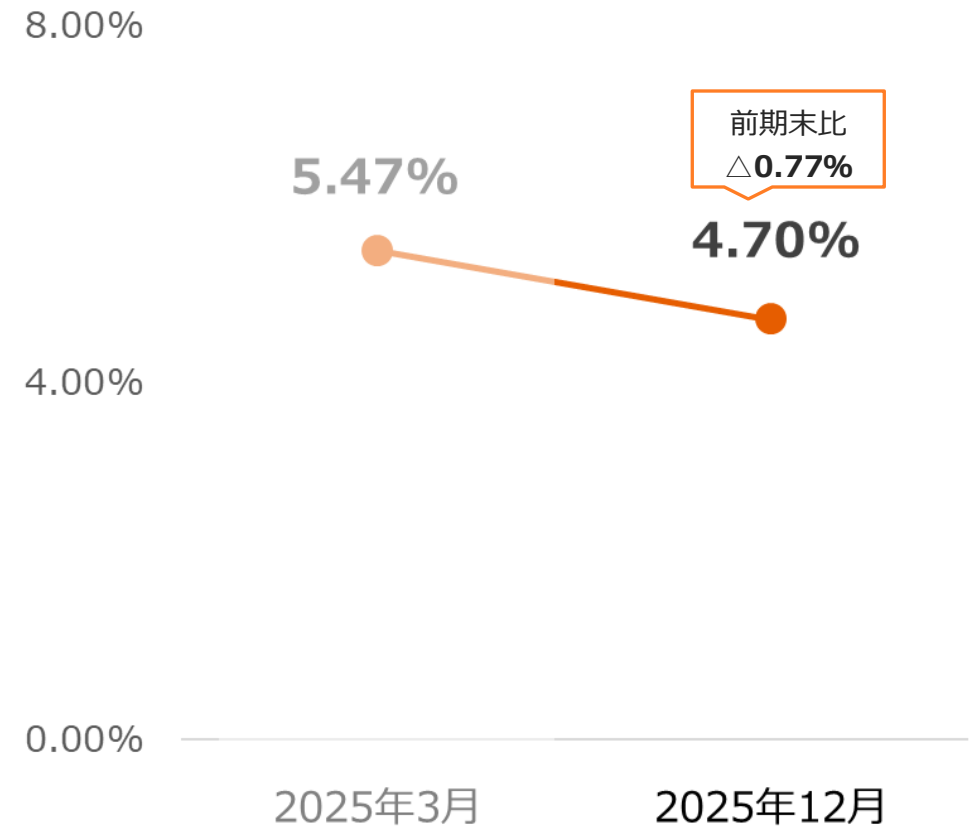


- 金融再生法開示債権のうち正常債権を除く開示額は前期末比87億円減少の568億円となり、不良債権比率も0.77ポイント下降の4.70%となりました。前向きに事業に取り組むお客さまの悩みや課題を共有し、その課題の解決に取り組んでいます。
- たましんは、経営状況が厳しいお客さまに対して、積極的に事業再生・経営改善支援に取り組んでいきます。

▽金融再生法開示債権残高



▽不良債権比率



## たましんレポート 2025.12

多摩信用金庫

〒190-8681

東京都立川市緑町3-4

TEL : 042-526-1111 (大代表)

発行 : 2026年2月

### お問い合わせ【お客さま照会センター】

本誌に関するお問い合わせ、ご意見は

**TEL : 0120-187-329**



(注) この四半期ディスクロージャー誌は、たましんが自主的に開示するものです。計数については、単位未満を切り捨て表示していますので、合計が一致しない場合があります。  
なお、内容や諸計数については、会計監査人の監査を受けておりません。本資料は、発表現在において入手可能な情報に基づいております。